

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●イクイノックスが2022年度JRA賞年度代表馬に輝く

- 2022年度のJRA賞競走馬部門各賞は下記の通りとなりました。
- 年度代表馬……………イクイノックス(美浦・木村哲也厩舎)
 - 最優秀2歳牡馬……………ドルチェモア(栗東・須貝尚介厩舎)
 - 最優秀2歳牝馬……………リバティア일랜드(栗東・中内田充正厩舎)
 - 最優秀3歳牡馬……………イクイノックス(美浦・木村哲也厩舎)
 - 最優秀3歳牝馬……………スターズオンアース(美浦・高柳瑞樹厩舎)
 - 最優秀4歳以上牡馬…タイトルホルダー(美浦・栗田徹厩舎)
 - 最優秀4歳以上牝馬…ジェラルディーナ(栗東・斉藤崇史厩舎)
 - 最優秀短距離馬……………セリフォス(栗東・中内田充正厩舎)
 - 最優秀ダートホース…カフェファラオ(美浦・堀宣行厩舎)
 - 最優秀障害馬……………オジュウチョウサン(美浦・和田正一郎厩舎)

馬事文化賞はabn長野朝日放送のドキュメンタリー番組「木曾馬と生きる 風わたる里 開田高原」が受賞しています。馬事文化賞特別賞には番組「幸せな人間が幸せな馬をつくる 調教師 藤澤和雄 最後の400日」(制作・著作/NHKおよびエキスポレススポーツ、制作/NHKグローバルメディアサービス)が選ばれました。

●柴田善臣騎手がJRA賞特別賞を受賞

令和4年(2022年)春の褒章において中央競馬の現役騎手としては史上初となる黄綬褒章を受章し、また11月にはJRA史上最年長記録となる56歳3か月7日での勝利をあげた柴田善臣騎手(美浦・フリー)が、その功績を評価され、JRA賞特別賞を受賞しました。

●武豊騎手が37年連続・通算350勝となるJRA重賞勝利

1月8日(日)の1回中京3日・第11レースとして行われた日刊スポーツ賞シンザン記念(GⅢ)ではライトクオンタムが1着となり、同馬に騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、中央競馬史上初となるJRA重賞通算350勝を達成しました。またデビュー年の1987年から37年連続でのJRA重賞勝利で、自身が持つJRA記録を更新したことになります。

●田辺裕信騎手がJRA通算1100勝を達成

1月9日(祝・月)の1回中山4日・第6レースではカムランベイが1着となり、同馬に騎乗した田辺裕信騎手(美浦・フリー)は、史上37人目、現役では19人目となるJRA通算1100勝(1万2579戦目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●各地のグランプリレースの結果(年齢は出走時のもの)

園田金盃(12月1日、園田、1870^米)は、3番手から2周目4コーナーで逃げ馬を交わした単勝1.9倍で1番人気のラッキードリーム(牡4歳、父シニスターミニスター)が、出遅れた2020年、2021年の覇者ジンを6馬身引き離して圧勝。中日杯(12月11日、金沢、2000^米)は、中団から追い上げた3番人気のJRAからの移籍馬ヴェノム(牡4歳、父リオンディーズ)が、先に抜け出した中日杯2連勝中で単勝1.2倍という圧倒的人気のハクサンアマゾネスを残り100^米で内から捉えました。中島記念(12月25日、佐賀、1800^米)は、5番手前後を追走した単勝1.7倍で断然人気のリュウノシンゲン(牡4歳、父グランプリボス)が直線入口で先頭に立って押し切り、岩手時代から通算して9度目の重賞制覇。桐花賞(12月31日、水沢、2000^米)は、5番手から差を詰めた1番人気のノーブルサターン(牡8歳、父カジノドライブ)がヴァケーションとの競り合いを半馬身差で制し、大井から移籍後トウケイニセイ記念に続いて重賞を連勝しました。東海ゴールドC(12月31日、笠松、1900^米)は、3～4番手を進んだ2番人気のウインユニファイド(牡10歳、父キンシャサノキセキ)が直線に入って間もなく抜け出し、前走の出走取消を挟んで重賞3連勝を達成。高知県知事賞(12月31日、高知、2400^米)は、5番手から2周目4コーナー手前で先頭に並んだ5番人気のガルボマンボ(牡3歳、父ガルボ)がアタマ差競り勝ち、JRAから転入以来6連勝中で単勝1.4倍の支持を集めたララメダイユドールは、逃げて10着に沈んでいます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●北米競馬統計～イントゥミスチーフが4年連続の首位種牡馬

2022年の北米競馬における各種統計がまとまりました。北米首位種牡馬の座についてはイントゥミスチーフ(2005年生まれ、父ハーランズホリデー)。ベガスワールドC、ホイットニーSなどG1・3勝のライフイズグッド、G1ブリーダーズカップジュヴェナイルフィリーズに勝ったワンダーウィールなどが活躍。取得賞金の2810万4353ドル(約39億9082万円)は昨年の自身の記録を更新する北米史上最高となりました。騎手はI.オルティスJr.騎手(30歳)が自身の北米記録を3年ぶりに更新する取得賞金3707万5772ドル(約52億6476万円)をマークして2年ぶり4度目の首位。ライフイズグッドでのG1・3勝、モードニゴールでのG1ベルモントSなど20ものG1を制しました。調教師は、C.ブラウン調教師(44歳)が取得賞金3105万7362ドル(約44億1015万円)で3年ぶり5度目のチャンピオン。G1勝利数はアーリーヴォーティングで制したプリクネスS、グッドナイトオーヴで勝ったブリーダーズカップフィリー&メアスプリントなど18に上りました。※1^{ドル}=142円で換算。